

平成27年度



# 赤木っ子だよ

平成28年1月18日 No.30 文責 校長 橋本忠秋

## 《教育目標》

『豊かな心と自ら学ぶ力をそ  
なえた、たくましい児童の育成』  
あ 明るく元気な子ども  
か 考えて行動する子ども  
ぎ 気力ある子ども



3学期始業式

## 「3学期は子ども達を成長させる絶好の機会!!」

校舎内外に子ども達の元気な声が響き、心新たに頑張ろうとする姿が態度に現れています。3学期は、現在の学年の総まとめです。今までの成功と失敗の経験を生かし、最高の締めくくりができるように指導をします。ぜひ、ご家庭でも激励をお願いします。

6年生は下級生のお手本となる話し方や行動を取り、尊敬されながら卒業できるように、併せて小学校で学習したことを総復習して身に付け、不安なく中学校に入学できるように準備する。5年生は4月から最上級生・赤木小の代表として活躍できるように、学習・生活面でも一つ上の自分を目指して努力する。4年生は高学年の仲間入り、6年生と共に活動できるように「してもら側からしてあげる側」に心を切り換え、その基本となる学習・生活の両面を今鍛える。3年生・2年生・1年生も同様に、現在の学年で教えられてきたことができるようにする。全児童が夢や希望を膨らませて進級できるように、今を大切にさせたいです。家庭生活でも、家族の一員としての役割を増やしていくことがあっていいと思います。

## 「危険がいっぱい=注意」

逢瀬川に架かる橋を渡ってくる子どもは多くいますが、冬場は特に危険です。橋は下に川が流れて風通しがよく、大変に冷やされてどこよりも凍りつきます。要注意の場所です。

また、横断歩道も大変危険です。横断歩道をわかりやすく表示するために、幅広い白線が間隔を空けてあります。この白線が凍りやすく、うっすらと雪が降っただけでも危ないです。転んだところに車が走り込んできたら、命に関わる大事故につながります。赤木方面は起伏に富んでいますから、坂道が多いです。住宅も密集して日陰もあちこちにあり、滑って転びやすいです。

転ばないように、万一転んでも頭を守り、すぐに起き上がることができるように手袋をし、手を出して歩くようにすることが何より大事です。

もう一つは、自動車などが突っ込んできて、事故に巻き込まれる可能性があります。どこを歩いても油断できませんから、周りに注意を払いながら登下校することが大切です。

**今日は大雪警報が出ています。外出などを控えさせることも大切です。**

**圧雪は凍結と同じような危険がありますので、やはり注意が必要です。**

## 「2年生…生命の誕生!」

吉岡助産師さんが持って来られた実物大で重さや感触も本物そっくりの赤ちゃんを抱っこする子ども達。



## 「男女の協力!…5年生」

助産師さんが貸してくれた赤ちゃんの心音を聴く聴診器で、友達の心音を確かめ合う子ども達。

